

2025 千葉市脱炭素先行地域推進コンソーシアム総会 議事要旨

1 日時

令和7年7月10日（木）10時00分～11時30分

2 場所

千葉市役所1階 正庁

3 次第

- (1) 開会
- (2) 会長・副会長挨拶
- (3) 脱炭素先行地域の事業進捗報告・事例紹介
- (4) コンソーシアム会員の取組紹介
- (5) 啓発活動プロジェクトチームの活動報告
- (6) 講評
- (7) 閉会 ※12時まで交流会を実施

4 要旨

- (1) 開会
- (2) 会長・副会長挨拶
- (3) 脱炭素先行地域の事業進捗報告（千葉市）・事例紹介（東京電力ホールディングス株式会社）
資料に沿って説明
- (4) コンソーシアム会員の取組紹介
出席者による取組紹介
（主な内容）
 - ・ 2050年から10年前倒しした2040年にカーボン・ニュートラルを達成することを目指して取り組んでいる。
 - ・ 店舗の脱炭素化も行っているが、取引先を巻き込みながらサプライチェーン全体でCO2を削減できるように、取引先のCO2削減計画策定の伴走支援なども行っている。
 - ・ 脱炭素ドミノを進めるにあたり、ナレッジの共有と次世代の育成を含めて展開していきたい。
 - ・ 金融機関として、自社の脱炭素化を進めるとともに、サステナビリティ関連の融資や相談等も実施している。地域の脱炭素化の取組みとともに、県内企業の脱炭素化にも貢献したい。
- (5) 啓発活動プロジェクトチームの活動報告
資料に沿って説明

(6) 講評

(千葉県環境生活部温暖化対策推進課)

- ・ 再エネ導入や省エネの取組など、各団体のペースが速まっており、順調に進捗している印象を受けた。
- ・ 千葉市の AEMS の取組の具体的な内容を本日改めて知ったが、画期的なシステムであり、これだけの規模でエネルギーマネジメントができることに驚いている。
- ・ 温暖化への適応策の一環として、クーリングシェルターを県内に増やしているという動きがあり、千葉市内では郵便局・イオンの協力を得ていると伺った。郵便局をクーリングシェルターとする取組については、6 月中旬に県内の市町村に伝えたところ、いくつかの市町村で同様の取組を進めることとなった。千葉市を発端に、取組例を県全体・他地域へと展開していく好事例と捉えている。
- ・ 県の役割として、取組の横展開があると考えている。
クーリングシェルターの取組だけではなく、本日説明いただいた各社の取組についても、県内中小企業等に可能な限り横展開していきたい。
今後も県民が取組の利益を享受できるように、協力をお願いしたい。

(環境省関東地方環境事務所地方脱炭素創生室)

- ・ 環境省として、R4 年度に千葉市を脱炭素先行地域に採択したが、取組が順調に進んでおり、中間評価で評価した通り、横展開などの波及効果があると見込んでいる。
- ・ 普及啓発活動に苦慮している自治体も多い印象であるが、千葉市のように各社の協力を得ながら普及啓発に取り組んでいることは、波及にもつながるものだと考えている。
- ・ 何か困りごとがあれば、関東地方環境事務所に連絡いただければと思う。

(7) 閉会